

特集

— 医療従事者の大学教育 —
コメディカルにおける今後の大学教育にむけて

村中 光

九州医療センター 院長

— University Education for Health care provider —

Perspective of medical staff training Toru MURANAKA

President, National Kyushu Medical Center



村中 光

はじめに

平成30年4月に多職種連携能力をさらに向上させ、生活者の視点で地域の保健・医療・福祉への諸問題の解決と予防、健康増進および高い生活の質を目指す社会へ貢献できるための汎用、実践能力と管理能力を持った人材育成を目的とした純真学園大学大学院保健医療研究科が開設されます。当大学院は看護学修士課程、保健衛生学修士課程よりなり看護学、放射線技術学、臨床検査学、臨床工学の4分野の学位取得が可能であり、高度医療、教育・研修、臨床研究を3本柱とする高機能医療施設である九州医療センターとの密な連携を特徴とします。とりわけ同院の臨床研究センター（文部科学研究費補助金取り扱い機関；機関番号：87105）は5部15室よりなり、アカデミア以外では他に類を見ない充実した研究環境を始め、様々なサポートシステムを有しています。職員全体が高度医療の質を継続的に維持するといった目的を理解し、多忙な診療業務と平行して研究活動を展開しており、すでに medical staff の学位取得者も多数輩出しています。このように膨大かつ多彩な研究テーマを身近に提供できるのみならず、当院あるいは系列の施設の学位取得希望者にとってもきわめて利便性が高く今後のスタッフの質の向上に大いに寄与すると確信しています。

医療情勢

WHO の報告やランセットに見られるように我が国の医療制度は長年他に類を見ない優れた医療提携体制であるとの評価を受けてきました。その理由は種々ありますが、その一つが GDP に占める医療費の割合が OECD 加盟先進国中30位以下であるといった効率性が評価されたものでした。しかし、一昨年のデータでは米国、スイスに次いで3位、直近では2位になることが確実視されています。これは GDP の伸びに対して医療費が増加しているためであるが、前述したように世界経済の歴史的流れから見て、今後成熟した我が国においては発展途上国のようなあるいはバブル期のような経済成長がもう一度来るといったことは幻想であり、そのうえ2025年には人口そのものの減少が始まることを考えると現状のままでは我が国の医療制度は立ち行かなくなる恐れがあります。このような危機感から政府は2025年を目途に医療機関の役割分担を明確にする医療再編、介護と医療の切れ目のないサービスを地域一体となって提供するといった大胆なシステム改革にのりだしました。その骨子は急性期医療市場の急激な縮小にそなえ過剰供給となっている急性期病床を縮減し、回復期、慢性期病床への転換とともにそれぞれ

れの施設の役割の明瞭化と機能の集約化，さらに医療と福祉のすみわけ，高齢者医療のみなおし，地域一体となった高齢者の社会的受け入れ態勢の充実により，膨らみ続ける医療・福祉費の適正化を図り持続可能な医療サービス体制をめざす，といったものです．一方で国民の医療コストに対する意識，さらには健康概念の確立，疾病予防への積極的行動などの意識会改革も不可欠な要素であり，供給側と受ける側が一体となってはじめて新しい時代に適した医療システムの確立が可能となります．

今後の医療従事者により強く求められるもの

基本的条件

人の営みの中で最も深遠な生と死に関わる職業であり，人として，社会人として人間の痛み，苦しみを感性高く察知出来る人間であるかということが医療従事者のまずは最も基本的かつ重要な条件です．さらに奉仕者として，バランス感覚，説明能力，客観性，合理性に基づく判断，ストレスに強い精神力を醸成していかなければなりません．

医療供給体制の変化と医療従事者

従来一人の医師，一つの施設での疾病治療から病-病，病診・在宅連携さらには地域連携など地域のそれぞれの役割が密に連携し，地域一体となった協働，さらには公衆衛生が一体となったサービス提供へと変化することから，チーム医療はもとより情報共有，人材交流が重要となります．その結果，臓器専門家や急性期医療の専門職の需要はおそらく減少し，一方，医療ニーズ多様化にともないそれに携わる医療人の役割も多様化していきます．同時にその専門性もより高く，さらにはより広い視野での判断力，単なる技術者として以上の資質がより強くもとめられるようになることから，今後は卒後教育が大事であり，とりわけそれぞれの分野のリーダー育成が急務です．リーダーの資質としてはまずは以下に述べる知的専門職（Learned Profession）としての高い意識を持つことが条件となります．

1. 高い医療技術水準

知的権威（Sapiential Authority）

2. 豊かな人間性，人格，教養

道徳的権威（Moral Authority）

カリスマ的権威（Charismatic Authority）

3. 組織性，社会性

Communication skill と Partner-ship

4. 学問的向上心

臨床データの整理，集積→発表

大学院では科学的根拠に基づいた思考過程や基本となる知識を総合的かつ系統的に学び，将来のリーダーあるいは指導者となるための基礎を身につけていただきたいと思います．